



□ 「ゼロカーボンシティ」の実現に向け取り組むことを宣言します。

古平町では、2050年までに町内の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロ※を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを北海道内の自治体で初めて宣言します。

※CO₂の人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による排出量との間の均衡を達成すること。

□ 背景

近年、国内各所にて甚大な被害を及ぼしている巨大台風や豪雨など、地球温暖化が要因とみられる大規模災害が多発しており、今後も干ばつや海面上昇、さらには動植物の絶滅リスクの増加など、地球上の全ての生物を脅かす気候危機というべき事態となっています。

こうした事態に対応するため地球の平均気温上昇幅を2度未満とする目標をかかげたパリ協定（2015年）が国際的に共有されていますが、現在は、気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑える必要があるとされ、そのためには2050年までにCO₂排出量をゼロにすることが必要とされています。

□ 取組内容

- ・令和4年（2022年）供用開始予定の中心拠点誘導複合施設（図書館、地域防災センター、地域交流センター、役場庁舎が一体となった複合施設）で新築公共施設として北海道内初の「ZEB（ZEB Ready）」認証を取得し、BELSで5段階評価の最高ランクを獲得しました。町全体として環境に配慮した施設整備を進めCO₂排出量の削減を図ります。
- ・町内事業者に対し、再生可能エネルギー、省エネ高効率機器の導入や国の補助制度を活用した省エネ機器への更新等の推進を図ります。
- ・平成31年（2019年）3月に策定した古平町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）において、基準年度（2013年度）と比較し2030年度温室効果ガス排出量40%削減を目標に掲げ、低炭素化社会の実現を目指しています。
- ・令和2年（2020年）1月に策定した「古平町地域エネルギービジョン」において、この喫緊の課題である気候危機を後世への課題としないためにも脱炭素化の実現を目指し、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、オール古平として取組むこととしています。
- ・その他、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、計画的に各種施策を推進します。



古平町中心拠点誘導複合施設 完成予想図

